

成果を生み出す会議の進め方研修

【合同研修】

～メンバーの力を最大限に引き出すスキル～

目 的	会議やワークショップの場等で合意形成を図ったり、意志決定を行うための支援者としての「議論の進め方の手法」を学ぶ。			
内 容	(1) より良い会議を生み出すための手法を学ぶ。 (2) ファシリテーションとファシリテーターについて理解する。 (3) 対話や合意形成の手法について学ぶ。 (4) オンライン会議を円滑に進めるためのコツを学ぶ。			
実施年月日	令和4年10月 6日(木)～ 7日(金)	定 員	36名(市町村職員12名 県職員24名)	
対 象 者	(市町村) 係長等の職員 (県) 中堅職員キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員 係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員			
実施場所	自宅、会議室など落ち着いて話すことが可能な場所			
推薦期限	令和4年 8月31日(水)	《第11回》	経 費 内 訳	P138参照
指定ホテル	—		そ の 他 留 意 事 項	—
研 修 講 師 (プロフィール)	【加留部貴行事務所AN-BAI 代表/九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 (かるべ たかゆき) 氏】 1967年 山口県生まれ 1990年 九州大学法学部卒業 西部ガス(株)入社(人事、営業、新規事業部門) 2001年 福岡市派遣(NPO・ボランティア支援推進専門員として) 2007年 九州大学へ出向(大学改革プロジェクト。ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発や学内外プロジェクト) 2011年 独立 現在に至る <主な著書>：『チームビルディングー人と人を「つなぐ」技法』『教育研修ファシリテーター』(ともに共著・日本経済新聞出版社)			
受 講 者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・今回研修で学んだ事で、オンライン会議を主催できそうです。 ・納得できる説明、ワークが多くあり講義内容がよく伝わった。新しい生活様式、会議様式への対応についての心構えができた。 ・画面、資料共に分かりやすくオンラインでのワークの体験も大変有効だった。 ・非常に分かりやすいプログラムと参加者の緊張を解きほぐす工夫がなされており、内向的な自分も積極的に参加できた。 ・アイスブレイクで同年代の受講者とセッションでき、他職種の実験を活かした意見交換ができ、大変参考になった。 			
備 考	※令和3年度は「円滑なオンライン会議の進め方研修」でしたが、令和4年度は名称変更しています。			

時 間 割

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1日目	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	接続テスト	オリエンテーション	1. これまでの会議をさらに振り返る 2. ファシリテーションとは 3. 準備の基本	昼食		4. 対話の基本 5. 可視化の基本 6. 合意形成ワーク				
2日目	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	接続テスト		7. オンラインという場の特徴 8. オンラインの場づくりのコツ 9. オンライン会議を体感する	昼食		11. 総合実践ワーク 12. 多様な対話の場づくりをめざして			アンケート・閉講	
	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。